

沖退教だより

第47号

連帯 平和 親睦

沖縄県退職教職員会

会長 仲村勝彦

〒902-0066

那覇市大道172-6

教育会館内

電話 098-886-7788

FAX 098-886-7787

2024年1月12日(金)



謹賀新年



辺野古 国の代執行に負けずに

新年あけましておめでとうございます。新しい年が会員の皆さん並びにご家族の皆さんにとって良い年になりますように祈っています。

斉藤鉄夫国土交通相は昨年12月28日、知事や県民の反対の声を無視して、史上初めて県に代わり防衛省が出した設計変更申請を承認しました。さらに、年明け早々の1月10日に

は県との事前協議もなしに、大浦湾の埋め立てを強行しました。民意を顧みない暴挙であり、許せるものではありません。「勝つ方法はあきらめないこと」ストーン監督ら400人の世界の識者が「辺野古ノー」の声明を出しました。心ある全ての人々と連帯して勝利をするまで頑張り抜きましょう。

沖退教女性会員「新春のつどい」開催

日時：2024年2月20日(火) 12:00-14:30

場所：県教育福祉会館(高教組)

会費：2,000円

県が珊瑚舎スコーレ東表中学校の設置を許可

珊瑚舎から本会にお礼のハガキが

本会は2010年7月の第41回定期総会で「珊瑚舎スコーレ夜間中学校の運営支援についての要請」を決議し、県議会議長、県教育長への要請をしてきました。また、県教育委員会から平成29年度で珊瑚舎スコーレ夜間中学校への支援を打ち切る案が出された際には、県教育庁への要請、県議会議長への陳情行動を行ってきました。また、私学学校法人「珊瑚舎スコーレ東表中学校」の令和5年(2023年)早

期設置認可を求める件についても、珊瑚舎側との意見交換会、署名活動等を経て、3月28日には県知事宛て(総務部長対応)に要請行動を行ってきました。

この件に関して、珊瑚舎スコーレから「珊瑚舎スコーレ東表中学校の設置認可申請に対して、10月4日沖縄県知事から設置を認める書面が届きました。ありがとうございます」とのお礼のハガキが届きました。

能登半島地震被災者支援カンパへのご協力を 一日も早い復旧を願ひましょう

最大震度7を記録した能登半島地震の発生から約2週間経ちましたが、復旧のメドはたっていません。連日メディアから流される被災地状況の光景には胸が痛みます。一日も早く元の生活に戻れるように祈りま

しょう。被災者の中には日退教会員もいらっしゃる可能性があります。

日退教・沖退教では能登半島地震への支援カンパをとりくむことにしました。ご協力をお願いします。

カンパ取り組み要領

- 1：支部毎に取り組む
 - 2：カンパ額は任意
 - 3：支部での取り組み期間 2024年1月13日～2月26日（土）
 - 4：支部から沖退教への集約 2024年2月29日（木）
 - 5：沖退教から日退教へ 2024年3月1日（金）
- ※カンパ金は日退教を通じて被災地に届けられます。

県民平和大会に1万人超

日退教第12次沖縄交流団も参加

60余りの団体・個人で組織する「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」（本会も賛同団体）が主催する「11.23県民平和大会」が昨年11年23日に奥武山公園で開催されました。沖縄の軍事基地要塞化が加速する中、有事の際に先島の住民約12万人を九州などに避難させる計画が具体的に検討されようとしています。沖縄を再び戦場にさせないと、危機感を抱く多くの一般市民や家族連れでの参加がありました。

日退教第12次沖縄交流団もこの日に合わせて日程を設定し、北海道から九

州までの約16人が参加し、沖縄の問題は沖縄だけの問題ではないとの思いから集会参加になりました。集会終了後は、沖縄両退教との交流に臨み、翌日の24日には、辺野古行動に参加しました。



平和大会の様子